

りんどうL通信
かわら版

平成18年12月号
通巻第51号
PR委員会発行



【盛大に終わった創立三五周年記念式典】

去る十一月十日、創立三五周年記念式典を無事に終えることができた。各ライオンの努力によって、あれだけの式典がつつがなくできた。

これから五年後には、四〇周年記念式典となるが、我々のクラブがどんなクラブになっているのか・・・考えてみるだけでも楽しい事である。



【台北市華興獅子会交流会】

11月11日、午後8時、台北市華興獅子会の御一行25名が、福岡空港に到着。12日創立35周年記念式典の後、歓迎会が行われた。翌日13日は1泊2日で熊本・島原へ出発。4泊5日の滞在期間は、あっという間に過ぎ、14日は大善寺町みずほ庵にて歓送会が行われた。翌日15日には、早朝の出発にも関わらず、多数のライオンに見送られ、無事に帰国された。つきっきりで接待された国際Y E委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。



【りんどう旗争奪
第十五回久留米市近圏中学生
サッカー選手権大会】

11月18日、19日の2日間に渡り、中学生サッカー大会を開催した。生憎の雨で、陸上競技場が試用できないハプニングもあったが、プレイする中学生達は寒さにも負けず、終日試合に没頭された。雨風の寒さの中、参加御協力を頂いたライオンの皆さんご苦労様でした。



【暴力追放市民総決起大会】

12月1日、毎年恒例の年末暴力追放市民総決起大会が催され、多くの市民参加のもと市内をパレードした。この日の警察署長の話、この頃の道仁会は機関銃や手投弾を持って勢力争いをやりだしたと云っていた。



犬声狽語

歳をとって誰もが言うことだが、1年経つこの速いこと。まさに光陰矢の如し。私も又、正月かと思ひながらこの稿を書いている。この頃歳をとって考えることは歳を逆さまに取ったら少しはマシな人生を送ることが出来たのではないかと、出来もしないことを考えている。歳を取ると色んな事が変わってくる。あれだけ読んでいたエロ本やAVを全く見なくなった。色気が枯れたわけでもないのに、この頃はエロ本がいやらしくなってきた。瀬戸内寂聴や三國連太郎が大真面目に歳老いてのイロ気は大事ですと語っていた。彼らと凡人の私が一様にはいかないがエロがいやらしくてもイロ気が大事なことは私も変わらない。食べるのも大きく様変わりした。病気になるほど食べていた肉を全く食べなくなった。我ながら不思議な現象だと驚いている。酒だけは、量は減ったが飲まない日はない。